

ネイティブクロストリジウム・パーフリングENS (C. ウェルチ) ニュラミニダーゼ

Cat. No. NATE-0480

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 ニュラミニダーゼ酵素は、ニューミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ニュラミニダーゼ酵素は多くの生物に見られる大きなファミリーです。最もよく知られているニュラミニダーゼはウイルス性ニュラミニダーゼで、インフルエンザ感染の散を防ぐための剤ターゲットです。ウイルス性ニュラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザニュラミニダーゼのいくつかの異体は、他のものよりもウイルスにいてより高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。少なくとも4つの哺乳類シアリダーゼホモログがヒトゲノムで記述されています (NEU1、NEU2、NEU3、NEU4を参照)。

用途 ヒト脳由来のニューロン特異的エノラーゼは、局所的脳虚血の治療におけるヒト羊水間葉系幹細胞を評価する研究に使用されました。また、横紋筋の特徴を持つ副鼻腔胚細胞癌を調する研究にも使用されました。

別名 神細胞酸化酵素; シアリダーゼ; α -神細胞酸化酵素; アセチル神細胞酸化酵素; エキソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18

製品情報

由来 クロストリジウム・パーフリングENS (C. ウェルチ)

形態 緩衝水溶液; 100 mM Tris-HCl、5 mM MgSO₄、250 mM KCl、pH 5.0-5.2の溶液

EC番号 EC 3.2.1.18

純度 > 95% (SDS-PAGE)

代謝路 グルコネオゲネシス、特定生物のバイオシステム; グルコネオゲネシス、オキサロ酢酸 => フルクトース-6P、特定生物のバイオシステム; グルコネオゲネシス、オキサロ酢酸 => フルクトース-6P、保存されたバイオシステム; グルコース代謝、特定生物のバイオシステム; 解糖、特定生物のバイオシステム

機能 リアーゼ活性; マグネシウムイオン結合; ホスホビルビン酸ヒドラターゼ活性

単位定義 1ユニットは、25°CでpH 6.8の条件下で、1分あたり1.0μモルのリン酸 (エノール) ビルビン酸を生成します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C